

# 向陽介護便り

平成25年10月 第90号

発行人: (有) 向陽介護システムズ

新宿区東五軒町1-12 青木ビル

TEL 03-3267-2015

## TPPとバリダンス

昨年12月、民主党・野田政権から自民党・安倍政権に政権交代、この1年の間に行われた2回の国政選挙で、国民は民主党を見放し、再び自民党を選択しました。国会のねじれも解消し、安倍総理は「決められない政治」から「決められる政治」へと猛進しています。来年4月からの消費税の8%への引き上げを決断し、TPP(環太平洋戦略的経済連携協定)への参加を決め、今月の初めバリ島(インドネシア)で行われたTPPの会議にも出席しています。バリ島でのTPP会議には、当初、オバマ大統領も参加する予定で、アメリカ主導のTPPを纏め上げる目算を立てていたものの、アメリカの議会がねじれ状態にあり、オバマケア(国民皆保険)を進めたいオバマ民主党政権に対し、共和党は予算案を認めず、政府期間が一部機能停止、オバマ大統領はTPP会議を直前でキャンセル余儀なくされました。



日本が世界に誇れるものとして、国民皆保険制度(昭和33年より)があり、国民が安心して医療機関にかかれる社会保障制度となっているのです。オバマ大統領も日本の制度に見習いたいと考えたのか分かりませんが、ネックとなったのが財源(おカネ)の問題だと言われています。



TPP会議が開かれた、国際空港のあるテンパサールの街から、1時間ほど島の中央部に向け車で行くと、芸術と芸能の町として有名な“ウブド”の町があります。鎌倉のようなイメージの町で、町中あちこちにバリヒンドゥー教の寺院があり、毎夜何処かの寺院でバリ舞踊が演じられ鑑賞することができます。ガムランの演奏と共に美女2人によるレゴンダンス、そして日本の獅子舞に似た聖獣バロンや魔女ランダが登場する『バリダンス』。



この舞踊(バリダンス)が意味するところは、“イヤン=善と悪”との戦い、善を象徴する聖獣バロンと悪の象徴である魔女ランダとの戦いの物語です。善と悪は戦い続けるものの、常に引き分けて、この戦いには終わりが無い。つまり世の中にはイヤン(善と悪、陰陽、相対する概念)が常にあり、悪いことがあってもよくよすることは無い、良いことがあれば、悪いこともあり、悪いことがあるから良いことに気づくことができる……、とのこと。

でも

もはや高度経済成長は期待できず、少子高齢化が進行する中、消費税の引き上げはやむを得ないとしても、介護保険制度改正で、軽度者が保険からはずれ、自己負担額の引上げは必至! 悪いことばかりで、何処に良いことがあるのかなあ～

(日本には無く、ウブド(バリ)にはあるかも)

